



石川フクラギ豊漁



石川県水産総合センターはブリの幼魚、フクラギが前年同期を7割ほど上回る漁獲量になるのではと予想しました。フクラギの水揚げは富山湾の深さ50m水位の水温が高いほど多い傾向だそうです。なお、成魚のブリについてはフクラギとは別の動きをするらしく現段階での水揚げ量の予測はできないのだそうです。しかしながら、多数のフクラギが大きくなってブリになる訳ですから、どの海域で水揚げされるのかは別として豊漁を期待したいものです。

スルメイカ減少続く

JF 全漁連のまとめによると、7月のスルメイカ全国水揚げ量は大不漁だった前年をさらに4%悪化したようです。地域別では北海道が50%減。三陸や本州日本海側、九州は前年比では回復しているものの北海道の減産をカバーするには至らなかったようです。1987年～2015年で毎年10万トンを超え、90年代には30万トンを超える水揚げが数回あったようですが、16年は6.4万トン、17年は5.4万トン、18年は4.2万トンと下降に歯止めがかかっていません。



入荷情報

いよいよ、カニ解禁!



☆ いよいよ、加能ガニ (ズワイガニ)の解禁です!

・今年も11月6日の解禁(出漁)で11月7日に初売りとなります。一般に“ズワイガニ”と呼ばれる雄ガニは11月6日～3月20日、今年“コウバコガニ”と呼ばれるメスガニは11月6日～12月いっぱいまで。カニシーズンを迎えたしばらくの間、カニ漁に集中する関係上、地物の甘エビが品薄になることがありますのでご注意を。

旬のカマスは9月中は前年の水揚げを下回りました。これまでの水揚げ、海水温などから予想される水揚げは前年実績や過去5年平均でも下回りそうです。タラは11月中旬以降から本格的に入荷してきます。その頃には型や子(白子)もしっかりして来ると思います。定置網にはガンドなど小型が多く、地物ブリの入荷はもう少し先の様です。

